

## サロン2002 公開シンポジウム

## 「U-18フットサル」を語ろう！

「サロン2002」は、サッカーを中心にスポーツ文化を語り、21世紀の“ゆたかなくらしづくり”を目指すことを“志”とする人びとのネットワークです。毎月の月例研究会のほか、2001年度より公開シンポジウムを毎年開催しています。本年度は標記タイトルで、U-18年代のフットサルを語るシンポジウムを企画しました。

近年急速な発展を遂げたフットサルでは、日本サッカー協会(JFA)主催でU-12、U-15(男女)、そして成年の男女の選手権が開催されていますが、U-18年代はJFA主催大会がなく、大会創設が望まれていました。そこで、昨年3月にオーシャンアリーナにおいて全国9地域からチームが集まり「サッカーキングカップ U-18フットサルトーナメント 2012」としてプレ大会が開催されました。

これを受けて、今年度は日本フットサル連盟・産経新聞社主催、JFA後援で大会が行われます。この大会関係者を中心にU-18フットサルの現状と将来を語り合い、ビジョンを共有することを目指してシンポジウムを開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。

(「サロン2002」の趣旨とこれまでの公開シンポジウムについては裏面に掲載しています)

## 記

主 催 : スポーツ文化研究会「サロン2002」

後 援 : 産経新聞社、ほか(調整中)

協 力 : 一般財団法人日本フットサル連盟

日 時 : 2013(平成25)年3月30日(土) 17:30~19:30 (受付16:30~ 於1Fアリーナ受付)

会 場 : テバオーシャンアリーナ (愛知県名古屋市港区金城ふ頭2丁目7)

※同アリーナで行われる「U-18フットサルトーナメント2013」の試合後に開催します。

演 者 : 松崎 康弘 (公益財団法人日本サッカー協会常務理事・フットサル委員長)

大立目 佳久 (一般財団法人日本フットサル連盟専務理事)

岩本 芳久 (熊本県サッカー協会フットサル委員長)

(コーディネーター兼)中塚 義実 (サロン2002 理事長/東京都サッカー協会フットサル委員/筑波大学附属高校)

参加申込 : サロン2002HPトップページ(<http://salon2002.net/>)の、「インフォメーション」

「参加申込はこちら」(<http://salon2002.net/application/>)からお申込み下さい。

参加費 : 1,000円 ※18歳以下は無料(大会出場選手の参加を歓迎します)

事務局 : 高田敏志・本多克己 (サロン2002 理事)

※お問い合わせは [salon2002@j-sps.com](mailto:salon2002@j-sps.com) までお願いします。

## ※U-18フットサルトーナメント2013 概要

- ・会場:テバオーシャンアリーナ(愛知県名古屋市)
- ・期日:2013年3月30日(土)、31日(日)
- ・主催:一般財団法人日本フットサル連盟、産経新聞社
- ・後援:公益財団法人日本サッカー協会ほか
- ・出場:10チーム

9地域(北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州)から1チーム  
開催地(2013年は愛知県)から1チーム

## ＜スポーツ文化研究会「サロン 2002」とは何か＞

「サロン2002」は、以下の設立宣言に賛同する「同志」によるゆるやかなネットワーク組織です。

### サロン2002設立宣言

(2000年4月1日)

我々は、以下に「サロン2002の“歴史”」、「サロン2002の“志”」及び「サロン2002の“会員”」を述べることにより、ここにあらためてサロン2002の設立を宣言する。

#### 【サロン2002の“歴史”】

サロン2002は、社会学、心理学等の専門的立場からサッカーの分析・研究・報告に従事していた「社・心グループ」（財団法人日本サッカー協会科学研究委員会の研究グループの一つで、1980年代後半からこの名称で活動）を前身とし、1997年からは研究者という枠にとらわれない、幅広い人材によって構成されるゆるやかな情報交流グループ「サロン2002」として活動を行ってきた。

#### 【サロン2002の“志”】

サロン2002は、サッカー・スポーツを通して21世紀の“ゆたかなくらしづくり”を目指すことを“志”とする。年齢、性別、国籍、職業、専門分野、生活地域などを超えた幅広いネットワークを築き上げ、全国各地にサロン2002の“志”の輪を広げ、大きなムーブメントとなることを目指す。

サロン2002の“志”を実現する上で、2002年FIFAワールドカップ韓国／日本大会は大きな節目であると認識する。国内外の様々な人々と協力しながら、この世界的なイベントの“成功”に貢献するとともに、同大会後の“ゆたかなくらしづくり”のためにできることを考え、行動する。

#### 【サロン2002の“会員”】

サロン2002は、前項の“志”を同じくする人たちのゆるやかなネットワークである。

サロン2002の“志”に賛同した個人であれば、誰でも、“会員”となることができる。ただし会員は、サロン2002からの“Take”を求めただけでなく、サロン2002に対して、また社会に対して何が“Give”できるかを常に考え、“Give and Take”の姿勢でいるということが前提である。

サロン2002は、会員に対して短期的な成果は求めない。長い目で見た“Give and Take”の関係が成り立っていればよい。即座のアウトプットが困難であっても、いずれ何らかの形で“Give”を考えている人なら“会員”となることができる。

2012年度の会員は、現時点で約180名。全国各地にいる会員は、小・中・高・大の学校関係者、Jクラブ・地域クラブの関係者、フットサルや草サッカーの関係者、新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどのメディア関係者、サポーターやボランティア、サッカー以外の競技の関係者など多様です。国や地方自治体のスポーツ行政に携わる者や、JFA、各都道府県FA関係者もいます。様々な形でサッカー・スポーツにかかわりながら、“志”を実現させようと活動する者で構成されるのが「サロン2002」です。

「サロン2002」の主たる活動は、月例会の開催と、その内容を核とするホームページの運営です。本シンポジウムは公開型月例会として毎年行われ、人と情報の行き交う場として定着しています。

詳細は、ホームページ <<http://www.salon2002.net>> をご覧ください。

### ＜サロン 2002 公開シンポジウム＞

- 2001年度…FIFA コンフェデレーションズカップ総括
- 2002年度…FIFA ワールドカップ総括
- 2003年度…地域で育てるこれからのスポーツ環境
- 2004年度…totoを活かそう！
- 2005年度…クramerさん、ありがとう！
- 2006年度…2006年ドイツで感じたこと
- 2007年度…サッカー観戦を楽しもう！-スタジアム編
- 2008年度…地域からみたJリーグ百年構想
- 2009年度…2019年ラグビーワールドカップを語ろう！
- 2010年度…育成期のサッカーを語ろう！
- 2011年度…高校サッカー90年史を語ろう！

## ＜公開シンポジウム報告書について＞

本シンポジウムの内容は、後日、報告書にまとめ、サロン2002のホームページ上で公開します。主催者に無断で、個人のホームページ、ブログ等に掲載されぬよう、よろしくお願いいたします。